

高校生ものづくりコンテスト山形県大会＜電子回路組立部門＞

山形県立寒河江工業高等学校

本木 伸秀

1 第 10 回県大会（兼東北大会予選会）について

1) 日程関係

- ア 日 時 平成 26 年 6 月 21 日（土）
イ 会 場 山形県立産業技術短期大学校
実験実習棟 3 F 電子回路実習室
ウ 参加者 31 名

2) 競技結果

ア) 総 合

- 1 位 松田淳司（山形工：情報システム科 3 年）
85.0 点 <東北大会出場権獲得>
2 位 五十嵐広也（鶴岡工：情報通信システム科
3 年）66.0 点
3 位 佐藤大輝（米沢工：電気情報類 3 年）
62.0 点

イ) ハードウェア部門

- 1 位 佐藤裕哉（新庄神室産：
機械システム科 3 年）
2 位 渡辺裕也（寒河江工：電子機械科 2 年）
3 位 佐藤洸太郎（山形工：
情報システム科 3 年）

ウ) ソフトウェア部門

- 1 位 本間 凌（米沢工：電気情報類 3 年）
2 位 武田拓也（山形工：電子システム科 2 年）
2 位 榎谷勇介（山形工：情報システム科 1 年）

2 2014 東北大会について

- 1) 日 時 7 月 30～31 日
2) 会 場 岩手県立盛岡工業高等学校
3) 参加者 7 名（各県代表 1 名と開催県 1 名）
4) 成 績 1 位秋田県，2 位青森県，3 位福島県

3 第 14 回 全国大会（岩手県）

- 1) 日 時 11 月 15 日
2) 会 場 岩手県立盛岡工業高等学校
3) 成 績 1 位大分県，2 位長野県，3 位岐阜県

4 県大会を振り返り

・総合講評

時代の進展に合わせて工業技術というものはツールや考え方が違ってきます。ただし根本にある部分是不変だと思います。どんなに便利になっても基本的な部分はしっかりと習得して、大切な技術として身につけてください。

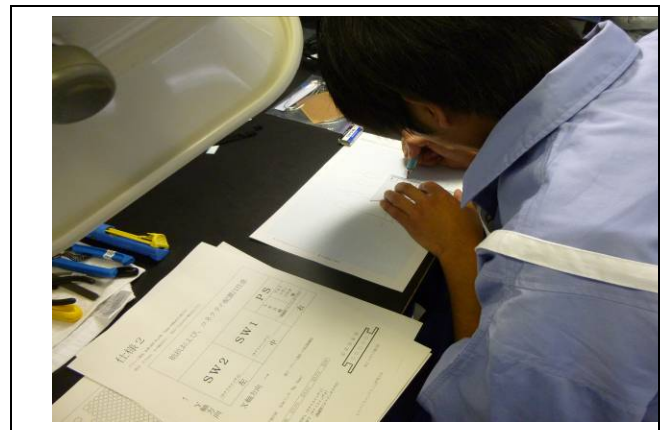
・ハードウェア競技について

皆さんの作成した基板を見せていただいて、とても個性豊かな作品が多かったように思います。

審査委員長のおっしゃる通り大切なものは年数が経っても変わらないものです。

・ソフトウェア競技について

すべて（5 問）クリアできた人は一人だけでした。また新規の 3 番、4 番の問題にも多くの人が挑戦してくれました。今大会の 1、2 年生の参加者は来年、再来年にむけてさらに努力をしてください。



5 おわりに

今年度、第 10 回という節目の大会を行うことができました。競技の準備に時間を要し終了時間が遅くなってしまい閉会式が遅れましたが、大会運営に携わっていただいたすべての関係者の皆様に感謝を申し上げたいと思います。